

皆さんの声を人権尊重のまちづくりへ

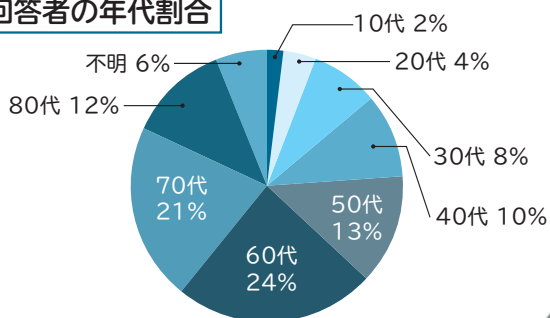
# 伯耆町人権意識調査の結果について

伯耆町は令和3年5月、16歳以上の町民を対象に「人権意識調査」を実施しました。その結果、回答率は46.8%となり、前回の回答率（40.6%）を大幅に上回りました。

この調査は、県の調査（令和2年5月）や町の前回調査（平成28年5月）と比較検討しながら、今後の人権施策の課題を明らかにするために行いました。

この結果は、人権尊重のまちづくりをめざす「伯耆町人権施策推進計画」の見直しのための資料として活用させていただきます。ご回答いただきました皆様、ご協力ありがとうございました。

回答者の年代割合



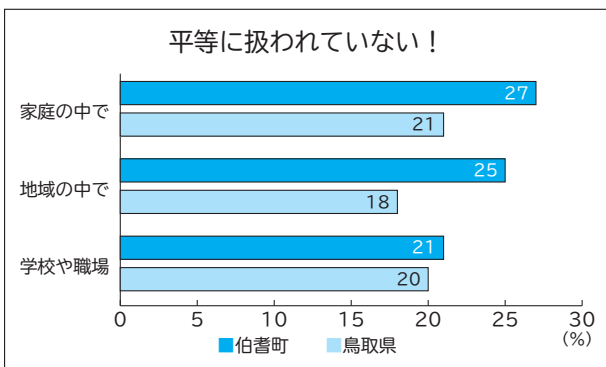
60歳以上の方が57%を占めています。県の調査結果は、60歳以上が46%でした。伯耆町では、県よりも高齢化が進んでいるからです。



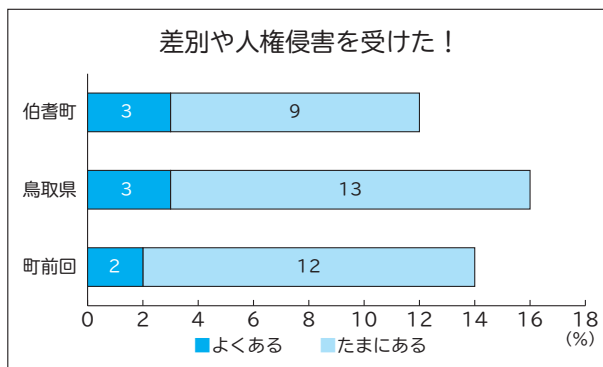
調査の方法

	今回	前回（平成28年）
対象者	16歳以上の町民	
対象者数	9,334人	9,931人
対象者の抽出方法	無作為	
調査方法	郵送により配布・回収	
調査期間	令和3年5～6月	平成28年5～6月
配布総数	1,194通	1,104通
回収総数	559通	448通
回収割合	46.8%	40.6%

普段の生活場面における人間関係の中で、平等に扱われているか



過去5年間で、差別や人権侵害を受けたと聞いたことがあるか

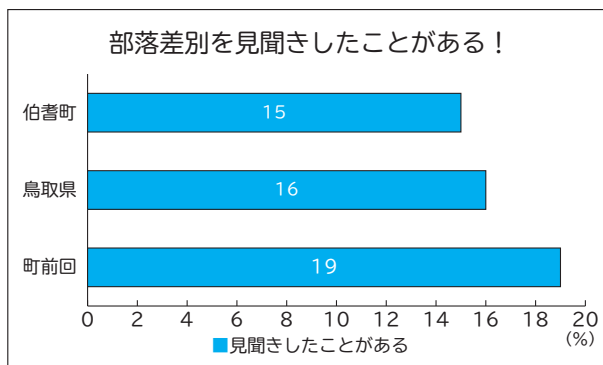


「差別待遇」、「職場での嫌がらせやいじめ」、「インターネットへの不適切な書き込み」、「同和地区（被差別部落）の人々に対する差別的な言動」など、日常生活の中で依然として差別や様々な人権侵害が発生しています。

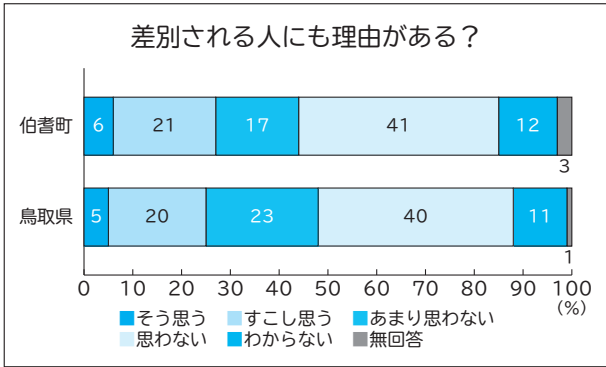
また、直接的な人権侵害のほかにも、家庭や地域、学校や職場の中で「平等に扱われていない」と感じている人が、県より多くなっています。



過去5年間で、同和地区（被差別部落）の人々に対する差別的な発言や行動を直接見聞きしたことがあるか



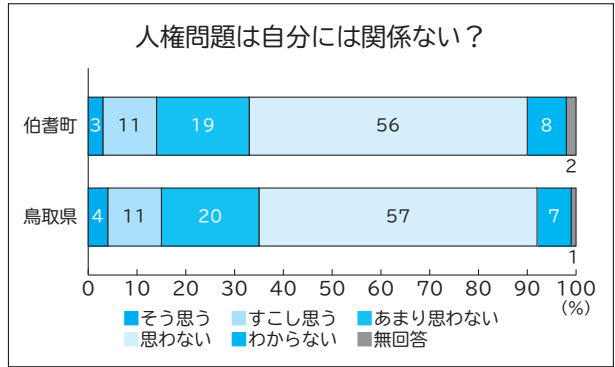
差別される人にもそれだけの理由がある



「そう思う」「すこし思う」と答えた人が合わせて27%(県25%)あり、「差別を受ける人に対する偏見」を持っている人が4人に1人います。



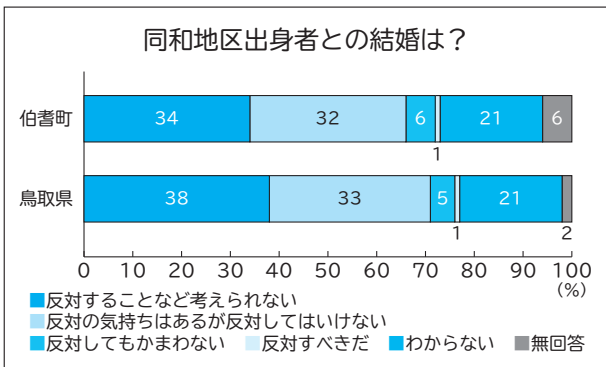
さまざまな人権問題が話題になるが、自分とは関係ないことだ



「思わない」「あまり思わない」と答えた人が合わせて75%(県77%)あり、8割近くの人が「人権問題は自分に関わる問題」とであるという認識を持っています。



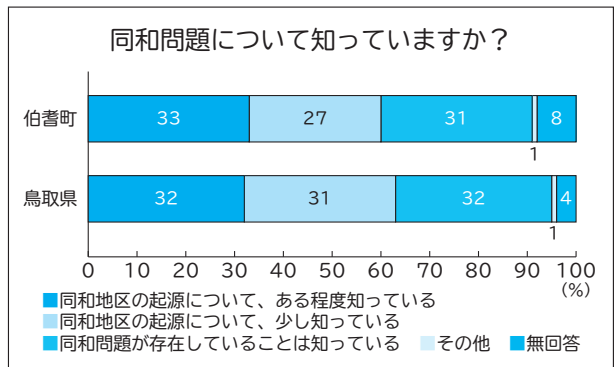
「相手が同和地区出身者であることを理由に結婚に反対すること」について



同和問題について、結婚差別や身元調査など、まだまだ課題がみられます。



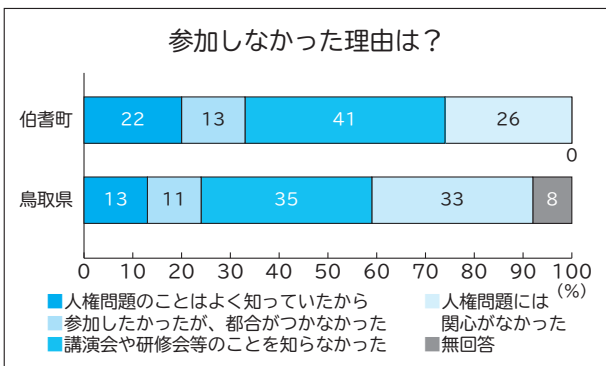
同和問題（部落差別）についてどの程度知っているか



同和問題について「ある程度知っている」と回答した人は、3割にとどまっています。



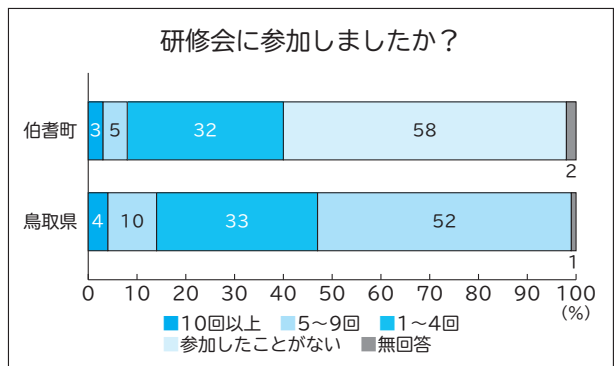
講演会や研修会等に参加しなかった理由



講演会や研修会等についての広報や周知方法、人権教育や啓発の内容や方法について、課題がみられます。



過去5年間に人権に関する講演会や研修会、地域の学習会等に何回参加したか



講演会や研修会等へ「参加したことがある」よりも「参加したことがない」人の方が多くなっています。



問い合わせ先

教育委員会事務局 人権政策室 TEL 0859-62-0713  
※アンケート調査の詳細は、町ホームページでご覧いただけます。